

4. 記入例等

(1) 「応募内容ファイル」の記入例

研究経費内訳の明細については、下記の例を参考に記入してください。

①「設備備品費の明細」欄、「消耗品費の明細」欄の記入例

- 各年度毎に区分し、かつ計を入れて記入してください。
- 「金額」欄は千円単位で記入してください。
- いずれかの年度において「設備備品費」が90%を超える場合には、当該経費の研究遂行上の必要性（内訳等）について、「研究経費の妥当性・必要性」欄に記入してください。

(金額単位：千円)

設備備品費の明細			消耗品費の明細		
年度	品名・仕様 (数量×単価) (設置機関)		金額	品名	金額
19	○ ○ ○ ○	2×@ 100 (○○大学)	200	○○○	350
	○ ○ ○ ○	2×@ 150 (○○大学)	300	○○○○	4
	○ ○ ○ ○	1×@ 400 (△△大学)	400	○○	10
		計	900	○○○	130
				計	494
20	○ ○ ○ ○	1×@ 200 (○○大学)	200	○○○○	450
	○ ○ ○ ○	1×@ 400 (□□大学)	400	○○	5
		計	600	○○○	10
				計	465

②「旅費等の明細」欄の記入例

- 各年度毎に区分し、かつ計を入れて記入してください。
- 「金額」欄は千円単位で記入してください。
- いずれかの年度において「旅費（国内旅費及び外国旅費）」又は「謝金等」のどちらかの経費が90%を超える場合には、当該経費の研究遂行上の必要性について、「研究経費の妥当性・必要性（内訳等）」欄に記入してください。

(金額単位：千円)

旅費等の明細								
年度	国内旅費		外国旅費		謝金等		その他	
	事項	金額	事項	金額	事項	金額	事項	金額
19	○○○	100			□□□□	150	◇◇◇	80
	○○	60			□□□	13		
	計	160	計	0	計	163	計	80
20	○○○	70	△△△	300				
	計	70	計	300	計	0	計	0

※ 科学研究費補助金では支出できない経費もあるので、注意してください。

③「研究業績」欄の記入例（基盤研究A・B・C（一般）及びA・B（海外））

- 最近5カ年間に学術誌等に発表した論文、著書、工業所有権等、招待講演のうち本研究に関連する重要なものを選定してください。
- 現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、発表年（暦年）ごとに点線で区切り、かつ、研究組織欄に記入された研究者ごとに記入してください。
- 学術誌等へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限りです。
- 論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記入してください。（以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。）
- 著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略（省略する場合、その員数と記載されている順番を○番目と記入）しても可。
- 研究代表者及び研究分担者にはアンダーラインを付してください。

研究業績		
発表年	研究代表者・ 分担者氏名	発表論文名・著書名等
2006 以降	半蔵門太郎	<p>…（論文名）… <u>半蔵門太郎</u>、○○○○、△△△△（他10名、1番目） ×××学会誌、11巻 120-127(2006) 査読有</p>
	麴町一郎	<p>…（論文名）… □□□□、▲▲▲▲、<u>麴町一郎</u>（他10名、3番目） △△△△学会誌、15巻 130-145(2006) 査読無</p>
2005	半蔵門太郎	<p>…（論文名）… <u>半蔵門太郎</u>、○○○○（他7名、1番目） ※※※学会誌、6巻 150-155(2005) 査読有</p>
	永田町学	<p>…（論文名）… ■■■■、☆☆☆☆、<u>永田町学</u>（他7名、6番目） &&&学会誌、3巻 56-72(2005) 査読無</p>
2004		
.		
.		

